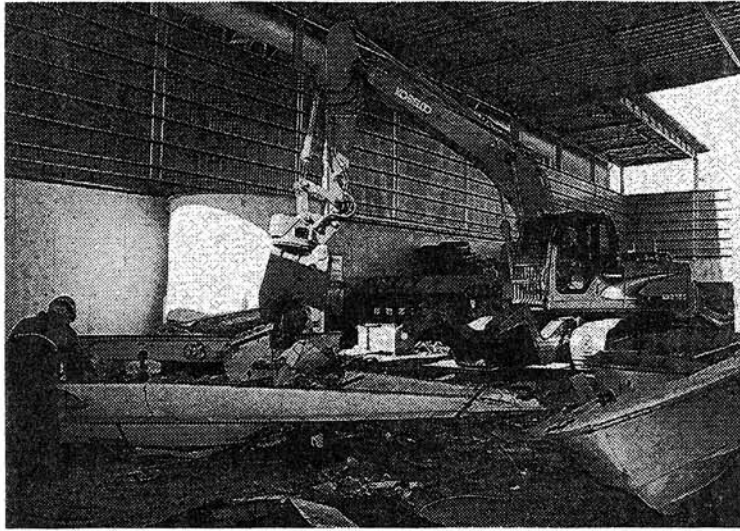


FRP製の廃船をリサイクルするため解体する
作業員ら＝四日市市天カ須賀のウエスギ物産で



繊維強化プラの 廃船リサイクル

四日市の 解体始まる
処理会社

繊維強化プラスチック
(FRP)製の廃船を解
体してリサイクルする作
業が、四日市市天カ須賀
の廃棄物処理会社「ウエ
スギ物産」で始まった。

県や個人所有者から持ち
込まれた十一隻を年度内
に解体。県外の中間処理
場に運び、セメントの材
料などとして再利用す
る。

FRP船の製造業者な
どでつくる日本舟艇工業
会(東京)が実施主体と
なり、二〇〇五年十一月

から運用を始めたリサイ
クルシステムの一環。F
RP船は材料が高強度な
どの製品特性から処分が
難しく、不法投棄の要因
にもなっているため、同
工業会が国から広域処理

の認定を受けて全国的な
システムを構築した。

県内では同社が〇六年
度から指定引取場所とな
り、廃船の解体作業を実
施。この日は大きなはさ
みをアームに付けた重機
で廃船を次々と解体して
いった。

作業に立ち会った同工
業会の山内信彦課長は
「廃船をどう処分すれば
いいか分からない人たち
にシステムをPRし、リ
サイクルの流れを定着さ
せていきたい」と話して
いた。
(大森準)